

Title	地圖と慶應義塾
Sub Title	
Author	河北, 展生(Kawakita, Nobuo)
Publisher	三田史学会
Publication year	1952
Jtitle	史学 Vol.26, No.1/2 (1952. 12) ,p.100- 100
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	餘白録
Genre	Journal Article
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19521200-0100">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19521200-0100</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

(三三) 清水氏「日本中世の村落」一二五頁

(三三) 例えば日本靈異記下卷第十七の紀伊國那賀郡彌氣里、及び下卷第二十八の紀伊國名草郡貴志里は、夫々同時に村とも書かれている。尙この里は郷里制の里ではなく、むしろ郷(五十戸一里の里)に相當することは、この里が屢々郷とも記されているから確かである。

### 地圖と慶應義塾

慶應義塾は安政五年(一八五八)福澤諭吉が、江戸筑地鐵砲洲奥平家中屋敷に蘭學塾を開設した時に發足するが、其後芝新錢座、更に鐵砲洲奥平中屋敷と居を移し、慶應四年即ち明治元年再び新錢座に移轉し、同所で慶應義塾と命名して、一種の法人組織とした。更に明治四年三田の島原藩邸を東京都より譲り受けて此處に移り現在に及んで居る。

慶應義塾はその命名と同時に、福澤の一私塾ではない譯であるが、猶世間では福澤の私塾と見る傾向が強かつたようである。明治二十年迄の調査し得た市街圖三一點を年代別に表記すると左の如くである。

年代	1	2	3	4	5	8	9	10	11	12	13	15	16	17	18	19
數量	3	2	1	2	2	1	2	1	2	5	3	2	2	1	1	3

このうち慶應義塾名のある地圖は存外少く左の九點である。

大倉四郎兵衛編	東京	繪圖	明治十五年
清水重之編	東京	區分繪圖	明治十三年
井上茂兵衛編	明東京區分	御繪圖	明治十三年
熊谷庄七編	改正東京	一覽圖	明治十二年
兒玉彌七編	繪入東京	御繪圖	明治十二年
木下孟寛編	東京市坊	細見圖	明治十年
武藤吉次郎編	三府五港	細見全圖	明治九年
武田勝次郎編	改正東京	御繪圖	明治九年
松浦 宏編	東京大小區分	繪圖	明治八年

明治六・七年の地圖は未調査であるが、おそらく明治八年の地圖が慶應義塾名を記載したものであるとしては初期に屬すると思はれる。

(河北展生)